

▼ドブラム注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】ドキサプラム塩酸塩 (U) doxapram hydrochloride 【分類】呼吸促進剤

【単位】▼400mg/V [20mL]

【常用量】■麻酔時：0.5～1.0mg/kg 静注 [最大5mg/kg まで]

■中枢神経系抑制剤による中毒時：0.5～2.0mg/kg を徐々に静注

■遷延性無呼吸の鑑別診断：1.0～2.0mg/kg 静注

■急性ハイパーカブニアを伴う慢性肺疾患：1.0～2.0mg/kg/hr の速度で点滴静注 [最大2.4g/日]

【用法】■麻酔時の点滴静注：はじめ約5mg/min の速度で投与し調節

■中毒治療時の点滴静注：1～3mg/kg/hr

【透析患者への投与方法】透析患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】腎不全患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【特徴】末梢化学受容体を介し、呼吸中枢に選択的に作用し、呼吸促進作用を示す。麻薬受容体の拮抗薬ではなく、中枢性換気不全に有効。

【主な副作用・毒性】頭重感、熱感、不安、血圧上昇、頻脈、骨格筋機能亢進、深部腱反射亢進、痙攣など

【モニターすべき項目】血圧、深部腱反射、脈拍数、動脈血液ガス

【代謝】肝代謝される (11) ケト体には弱い薬理活性がある (animal) (11)

【排泄】主に糞便中排泄 (55%) いくらかは腎から排泄 (U) 尿中未変化体排泄率5%未満 (11) 尿中回収率15% [iv, 48hr まで] (1)

【CL】5.6～5.9mL/min/kg (Eur J Clin Pharmacol 16: 411-6, 1979) 417mL/min (10)

【t_{1/2}】7hr (10) 2.5～4.5hr (U) 最終相6～7.5hr (Eur J Clin Pharmacol 16: 411-6, 1979) 平均3.4hr (2.4～4.1hr) 8.17hr (併記されている) (11)

【蛋白結合率】ほとんど結合しない (1)

【Vd】1.5L/kg, 7.33L/kg (併記されている) (11) 資料なし (1)

【MW】432.98

【透析性】資料なし (1) 消失が速いので透析の寄与は小さいと思われる (1)

【TDM のポイント】TDM の対象にはならない (4) 治療濃度：未熟児無呼吸発作に対する血中ドキサプラム濃度0.4 μg/mL～5 μg/mL 未満 (1)

【pKa】6.70 (1) 【O/W 係数】資料なし (1)

【効果発現時間】20～40sec 【最大効果発現時間】1～2min

【効果持続時間】5～12min

【備考】呼吸興奮が十分生じない場合は呼吸抑制の原因が筋弛緩剤の残存効果によることを考慮 (1)

【更新日】20180423

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。